

HP  
ココ見て♪ボードセンター森建材 代表  
同志社大学商学部卒

AB型の双子座。  
ニックネームは「ゆきちゃん」。  
好きな食べ物は、「アイスクリーム」と「おろしそば」。趣味は「そば打ち」と「ウォーキング」。人と話すことが大好きです。気軽に声をかけてください！

## 略歴

元 あわら市議会議員(3期12年)  
・H27.28年度 厚生経済常任委員長  
・H29.30年度 あわら市議会議長  
元 金津小学校・元金津高校PTA会長  
元 金津町青壮年団体連絡協議会会长  
元 あわら交通安全協会理事  
現 あわら市長(1期)



# つながる、あわら ～さらなる挑戦を～

この4年間であわら市は、市と市民が、人と人が、地域と地域がつながる力、外とつながる力がとても強くなってきたと実感しています。

この力をさらに強め、あわら市をもっとも住みよい活気にあふれるまちにするために、私は市民の皆様とともに、さらに挑戦を続けたいと決意しております。

## あわら市長 森ゆきつぐ

### この4年間の主な実績 (マニフェスト検証)



#### 1 北陸新幹線開業に向けた駅周辺整備と観光戦略の充実

- 新幹線駅周辺の賑わいづくり「アフレアイベント」の定期開催や、「竹田川周遊整備事業(児童公園リニューアル)」に取り組んでいます！
- 新幹線駅前に「マクドナルド」を誘致しました！(令和8年オープン予定)
- 「あわら湯のまちみらいプロジェクト」をスタートし、夜間ライトアップやチャレンジショップ等の実証実験を行いました！
- 開花亭跡地に「星野リゾート」を誘致し、同社とまちづくりに関する協定を締結しました！
- 「ぐるっとタクシー」や「恐竜バス」など**2次交通の充実**に取り組みました！
- 将棋タイトル「竜王戦」を官民連携で2年連続誘致し全国にあわら市を発信しました！



#### 3 人口減少対策

- 「あわらっこファーストバースデーお祝金(一人/3万円)」を創設しました！
- 移住・定住者向け特設サイトを開設しました！
- 若者の定住促進に向けて「奨学金返還支援制度(最大50万円)」を創設しました！
- 「全天候型子どもの遊び場」を整備します！(R8完成予定)



#### 4 学校給食費の完全無償化

- 小・中学校給食費の完全無償化を実現しました！



#### 5 福祉まるごと相談窓口を創設

- 「福祉まるごと相談室」を設置しました！



#### 6 デジタルクーポン活用による経済活性化

- 経済活性化策としてデジタルクーポン「あわら割」を発行しました！



#### 7 上下水道料金の値上げ抑制

- 県からの購入水量や購入単価の引下げを交渉しています。



#### 8 あわら市北部(北潟・吉崎エリア)の活性化

- 「道の駅蓮如の里あわら」を核として、吉崎エリアの賑わいづくりに取り組んでいます！
- 北潟湖サイクリングロードの延伸や北潟湖畔の整備に取り組んでいます！



#### 9 生活道路の整備

- 門型側溝や集落内道路など、生活道路への整備要望に対し、予算を増額しました！



#### 10 バランスの取れた産業の振興

- 「拠点拡充補助金」を新設し、5件の市内企業に助成しました！
- 企業のニーズに応え、企業誘致補助の要件(市民雇用)を緩和し、使いやすいものとしました！
- スマート農業支援として「未来に繋ぐふくいの農業応援事業補助金」を創設しました！
- 電気代・燃料費高騰に伴い、商工業者・農業者への支援を行いました！



#### 11 健全な行財政運営

- ふるさと納税を**6倍に大幅増収しました！**(R3:2億円→R6:12億円)
- 市債(市の借金残高)を**約10%減らしました！**(R3:176億円→R6:160億円)
- 財政調整基金(市の貯金)を**増やしました！**(R3:33億円→R6:38億円)



#### 12 その他の実績

- 能登半島沖地震の被害に迅速に対応し、市役所内に新たに**危機管理課**を設置しました！
- 避難所となる**中央公民館**を改修しています！(R7完成予定)
- 本荘小学校の大規模改修**に着手しました！(R8完成予定)
- 各中学校体育館の**空調設備を整備**します！(R8完成予定)
- 集落の課題解決を支援する**集落活性化支援事業補助金**を創設しました！
- 子ども・若者の声を聴くための**次世代につなぐタウンミーティング**を創設しました！
- 切れ目ない移住・結婚・住まい支援で、**過去最高のUIターン者数**を実現しました！
- 「スマホよろず相談所」**の設置や、「あわら市公式LINE」による市政情報発信など、DXを推進しました。

### タテにつながる

- 子どもから高齢者まで、すべての市民が住んでよかったと実感できる「賑わいと安らぎのまちづくり」を進めます。
- 大きな災害への備えを万全にし、「安心・安全のまちづくり」を進めます。



### ヨコにつながる

- 北陸新幹線開業を機に、観光・工業・商業・農林水産業などすべての産業の力を強め、各地域の魅力をつなぎ高めながら、県や近隣市町と連携し、オールあわらで「活力あるまちづくり」を進めます。



### そして未来とつながる

- 誰もがタテとヨコにつながって、このまちに誇りを持つことが、人口減少に打ち勝つ力になります。タテとヨコの糸を紡ぎ上げ、未来に向かって「誇りあるまちづくり」を進めます。

 森ゆきつぐ後援会

住所 あわら市春宮二丁目7-36  
TEL 73-0114

# つながる、あわら～さらなる挑戦を～

## 1 子どもから高齢者まで“住み続けたくなる”まちづくり

人口減少が進む中、すべての市民が安心して暮らせ、住み続けたいと思えるような、誰一人取り残さないあわら市にするため、次のこと取り組みます。

- 子育て環境の改善を図るため、旧芦原庁舎を「子育て拠点の総合複合施設」に改修します。
- 補聴器購入補助や福祉タクシーの補助額引き上げなど高齢者・障がい者に向けた応援策の充実に取り組みます。
- 若者の出会いから出産・子育てまで切れ目ない支援をさらに充実します。
- 子ども達を夏の猛暑から守るため、市内小学校（7校）の体育館空調設備の整備について検討します。
- 湯のまち公民館と芦原図書館の整備検討を開始します。



あわら市福祉タクシー



全天候型子どもの遊び場(完成イメージ)

## 2 市民とともに目指す“活力ある”まちづくり

すべての産業の力を強め、オールあわらで活力あるまちづくりを進めるため、次のこと取り組みます。

- 市民のニーズに合わせた商業店舗を誘致するための補助制度を充実します。
- 新しい産業の創出に向け、企業誘致や創業支援を充実するとともに、市内商工業者の支援制度の拡充に努めます。
- スマート農業など農業用設備等の補助制度を拡充します。
- 鳥獣害対策(クマ、イノシシ)を強化するとともに、農家の担い手不足・耕作放棄地の解消に対応する仕組みを作ります。



新規店舗の創業支援



市内企業への拠点拡充支援

## 3 災害に備えた“安心・安全”的まちづくり

あわら市にも甚大な被害をもたらした、令和6年1月に発生した能登半島沖地震を教訓に、安心・安全のまちづくりを推進するため、次のこと取り組みます。

- 国道8号の4車線化、県道「水口牛ノ谷線」道路改良事業、および県都市計画道路「南中央線」整備事業の早期完成に向け、国・県へ力強く働きかけます。
- 基幹水道管の耐震化率を現在の11%から25%に引き上げ、災害に強い水道インフラの整備を進めます。
- 実践的な防災訓練の実施、防災情報発信の強化を行い、災害に強いまちづくりに努めます。



南中央線(完成イメージ)

## 4 北陸新幹線の“開業効果”的持続・拡大

令和6年3月に北陸新幹線が福井県まで延伸し、あわら市も多くのお客様で賑わっています。市民の皆さんとともに、この千載一遇のチャンスを活かすため、次のこと取り組みます。

- 北陸新幹線芦原温泉駅周辺の賑わいづくりに向け、芦原温泉駅周辺のさらなる整備に取り組みます。
- あわら市観光まちづくりビジョンに基づき、あわら温泉街のさらなる賑わい創出と、セントピアあわらの今後の在り方について検討します。
- 北潟湖畔公園の再整備と、吉崎御坊の発掘調査に向けた検討を開始します。
- 県や坂井市と連携した広域観光を推進します。



芦原温泉駅周辺の賑わい創出



湯のまち広場の賑わい創出(イメージ)

## 5 ゼロカーボンシティとDXで目指す未来への挑戦

地球温暖化とデジタル技術の進展は、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。未来を見据え「あわら市脱炭素ロードマップ」に基づくゼロカーボンシティの推進と、「DX推進基本計画」の実現を図るため、次のこと取り組みます。

- 学校や公民館等への太陽光発電の導入とLED化を促進します。
- 「あわら市沖洋上風力発電」の実現に向け、国・県と連携して推進します。
- 「スマホよろず相談所」を市内全域に拡充させ、市民参加型の「健康アプリ」を導入するなど、DXを市民生活に直結させます。



スマホよろず相談所



洋上風力発電(イメージ)

## 6 すべてを支える健全な行財政運営

物価や人件費の高騰が続く中、健全な行財政運営を行うための様々な財源の確保と、持続可能な風通しのよい市政運営を図るため、次のこと取り組みます。

- 地元生産者への支援制度「ふるさと納税3.0」を活用し、ふるさと納税のさらなる増収を目指します。
- 観光施策の財源確保のため、入湯税の引上げを検討します。
- 市民と職員の声をしっかりと聴き、事業の選択と集中を徹底し、職員の働き方改革を進め、業務の効率化と行政サービスの最大化を図ります。